

## 『身につけた力を活用し、主体的に学習に取り組む子の育成』

利尻町複式教育研究部会

### 1. 研究主題について

#### 研究主題のおさえ

「身につけた力の活用」とは、基礎基本を身につけて活用して自分の考えを持ち、考えを図やグラフ、式や数直線などを活用して表現、説明できる力のこと。また「主体的に学習に取り組む子」とは、発展的・応用的な問題にも主体的に取り組もうとする児童のこと。

#### 研究内容

- (1) 基礎基本を身につけ、自分の考えをわかりやすく表現できる力の向上
  - ①基礎的・基本的な学力の定着
  - ②自分の考えをわかりやすく表現できる力の向上
- (2) 主体的に発展的・応用的な問題に取り組める力と態度の育成
  - ①発展的、応用的な問題に日常的に触れる機会の設定
  - ②既習内容を活用し、発展的、応用的な文章問題が解ける力の向上

### 2. オンライン学習などICT活用状況

本校は平成29年度に「ICT活用教育促進事業」に参加し、当時より一人一台端末の体制が整えられていた。また、学習への活用も進んでおり、ドリル学習はもちろん、写真や動画の撮影や調べ学習、発表活動等に日常的にICTを活用してきた。

令和になり、新型コロナウイルスによる約2か月にわたる臨時休業期間中も、端末を活用し、スカイプを使用したリモート授業をすぐに導入。授業時数にはならないものの、学習進度は滞ることなく、子ども達の学びを保障することができた。

令和3年度には算数科において、デジタル教科書の活用を試み、その長所や短所について確かめることができた。

令和4年度は、町内の小学校とのリモート授業を計画しており、今後も更なる教育的効果を目指したICTの活用を進める予定である。

### 3. 市町村教育研究大会の様子

今年度より、利尻、利尻富士両町の研究会が合同となり、「利尻島教育研究会」が発足した。合わせて、11月12日に「利尻島教育研究大会」が鴛泊地区を会場に開催され、両町の教職員が集い、学びを深めることができた。

### 4. 今後の方向性

#### 本校の研究の様子

本校では、子ども達の資質・能力を育成するための学力向上を目指し、標題のテーマをもとに校内研究を進めている。今年度も、6月29日と12月13日の2回、校内授業研を行い、主体的、対話的な深い学びのある授業づくりについて意見交換をし、本校の研究を深めることができた。



#### 令和4年度に向けて

現在は、今年度の研究を総括するとともに、新年度の教育課程編成を進めているところである。今後、令和4年度の教育課程編成を受けて、本校児童の資質・能力を育てることを目指した学校研究となるよう研究計画づくりを進めていく。

また、島研が合同となったことを受けて、利尻富士町の複式部会との連携を模索していくとともに、町内小中学校とのさらなる連携を見据え、少人数の不利を少しでも解消できることを目指していく。